

- 1 旋盤は、工作物を主軸に取付け、切削工具を回転させながら切削加工を行う工作機械である。
- 2 ポンプ運転時の代表的なトラブルには、キャビテーション、ウォーターハンマ、サージングがある。
- 3 電動機などの電気機器の絶縁材が損傷・劣化し、電流が電気回路外へ流れる現象を漏電という。
- 4 導体に流れる電流 I の大きさは、加えた電圧 V に比例し、導体の抵抗 R に反比例する。
- 5 三相誘導電動機は、電源線 3 本のうち 2 本を入れ替えても、回転方向は変わらない。
- 6 位置決め制御におけるフィードバック制御は、制御対象の現在位置や速度などの状態を検出せずに位置決めを行う制御方法である。
- 7 予防保全には、劣化を防ぐ活動、劣化を測定する活動、劣化を回復する活動の 3 つがある。
- 8 設備の日常点検チェックシートは、保全記録に含まれない。
- 9 一般的にダブルナット（二重ナット）の取付け順は、先に薄いナット、その後に厚いナットを取付ける。
- 10 特性要因図とは、特性（結果）に対して、その要因を体系付けられるように図で表現したものである。
- 11 ステンレス鋼は、鉄鋼にニッケル（Ni）と亜鉛（Zn）を加えて性質を改良したものである。
- 12 焼戻しは、焼入れをしたあとに適切な温度に再加熱し徐々に冷やすことで、鉄鋼材料に粘り強さなどを与える熱処理である。
- 13 一般的に両頭グラインダは、砥石^との側面を使用してよい。

- 14 ボール盤作業は、切りくずが出るので、必ず手袋を装着する。
- 15 5S（整理・整頓・清掃・清潔・^{しつけ}躰）活動の「整理」とは、必要なものを使いやすく、取出ししやすいように、決められた所に、決められたとおりに置くことをいう。
- 16 ステッピングモータは、パルスを入力するごとに一定角度回転する。
- 17 サーマルリレーは、電動機の過負荷や拘束状態の大電流による焼損を防止するために使用される。
- 18 2つのコンデンサを直列接続することにより、並列接続よりも大きな合成静電容量を得られる。
- 19 静電誘導とは、抵抗体に電流を流すと、ジュール熱が発生することである。
- 20 電界放出とは、金属表面の電子の励起によって、金属面に電界が生じる現象である。
- 21 直流回路における電気抵抗に相当するものを、交流回路ではインピーダンスという。
- 22 1秒間に1クーロンの割合で電荷が通過するとき、電流の大きさは、1アンペアである。
- 23 トランジスタは小型・軽量で長寿命だが、消費電力は真空管よりも大きい。
- 24 論理回路の論理式では $\overline{A \cdot B} = \overline{A} + \overline{B}$ が成立する。
- 25 一般的にコンデンサの静電容量は、オシロスコープで測定する。
- 26 ノイズフィルタには、入力信号を増幅する機能がある。
- 27 鉛分1.0%未満のはんだを、鉛フリーはんだという。
- 28 アルミニウムやタングステンは、導電材料である。

- 29 隣り合うねじ山の2点間の距離をリードといい、ねじを1回転させたときのねじが進む距離をピッチという。
- 30 日本工業規格（JIS）によれば、下図は「機能等電位結合」の電気用図記号である。

